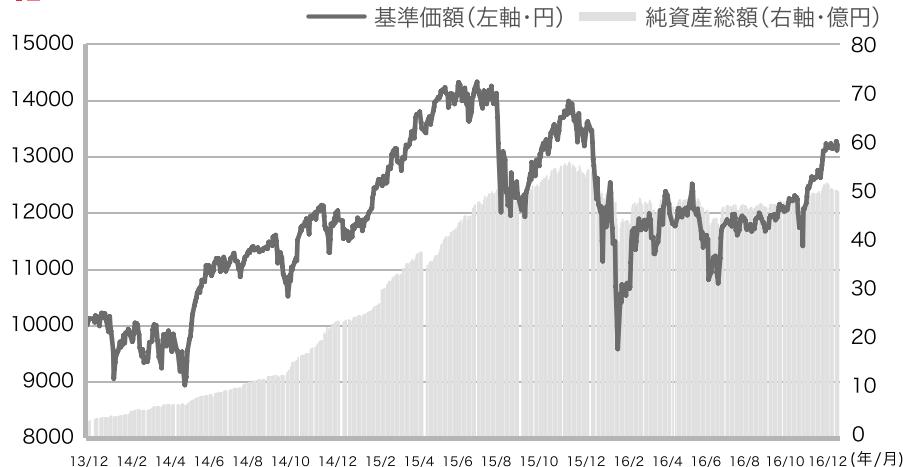




2016年12月30日付

基準価額の推移



分配実績

| 第1期 (2014年12月18日) | 第2期 (2015年12月18日) | 第3期 (2016年12月19日) |
|----------------------|----------------------|----------------------|
| 0円 | 0円 | 0円 |

◆当ファンドは、2016/12/19に第3期の決算を迎えました。分配金は0円とさせていただきました。

基準価額の騰落率

| 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 4.54% | 11.29% | 18.71% | ▲3.00% | 30.58% | 32.19% |

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

受益者の皆様へ

2016年12月19日に「ザ・2020ビジョン」はおかげさまで第3期末を迎えることができました。受益者の皆様には心より御礼申しあげます。

2016年前半はチャイナショックやブレグジット(英EU離脱)などによって大きくマイナスとなりましたが、年後半の株価上昇局面で前期末比2.7%マイナスまでパフォーマンスを急回復させる結果となりました。※詳細は2月に発行される運用報告書をご参照下さい。

2016年は株価大幅下落(日経平均16000円台)局面において、「中長期の観点で絶好の買い場」というメッセージを運用報告会や月次レポート・動画、TVや新聞などで積極的に発信するなど、マーケティング活動にも積極的に取り組みました。またパフォーマンスのさらなる向上策としても、末山アナリストの採用や私が当ファンドに一段と注力できる運用体制を構築するなど、運用体制を強化しました。

2017年も、皆様のご期待にお応えできるように尽力して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

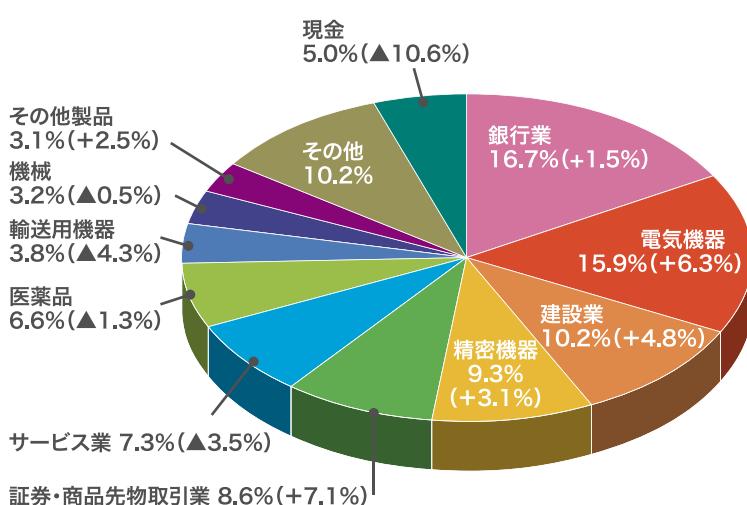


チーフポートフォリオマネージャー 糸島 孝俊

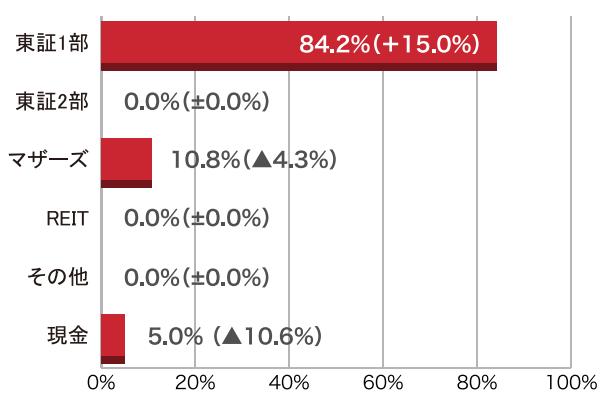
市場概況

12月初旬は、4日のイタリア国民投票の影響でリスク回避の動きとなり、株式市場は下落しました。12日には、OPECが非加盟国の大半の主要産油国と減産合意したことでの原油価格の上昇、欧米株高や円安・ドル高が進行し、日経平均は終値で19000円を回復しました。14日にはFRBが利上げを決定し、利上げペースが加速するとの見方から円安が進み、主力の外需株などが上昇しました。20日には日銀が金融政策の現状維持と、景気判断を上方修正したことから買い安心感が広がり、21日にザラ場で日経平均19500円台後半まで上昇しました。その後は揉み合いの局面を経て、月末にかけては米長期金利の低下を受けた円相場の下げ止まりなどから利益確定の売りが膨らみ、株式市場は下落しました。

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

運用状況

○ 主な投資行動

4日のイタリア国民投票後の下落局面においては、電気機器などの外需株を中心に買い付けて株式等組入比率を90%弱まで引き上げ、さらに8~9日にかけても同様の銘柄群を買い増すことで同比率を95%程度まで引き上げました。しかしその後は、14日のFRBによる利上げの決定に加え、FRBが今後の利上げペースを加速するとの見方からドル円が118円台まで下落したことなどを背景に、急ピッチに上昇していた輸送用機器などの外需株や情報・通信業などを一部売却するなど、同比率を一時的に大きく引き下げました。日銀の金融政策決定会合(20日)後の揉み合い局面や、年末を前に利益確定などの売りが優勢となった下落局面においては、証券・商品先物取引業や電気機器などを断続的に買い付け、12月末の同比率は95.0%としました。

○ ファンド月間リターンとその要因

12月の月間リターンは4.54%の上昇となりました。主な要因は先月末より組み入れ比率を引き上げていた銀行業、精密機器、今月に組入比率を引き上げた証券・商品先物取引業などが上昇したことなどによるものです。なお、当ファンドにベンチマークはありませんが、TOPIXは+3.35%上昇、日経平均は+4.40%上昇となりました。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

組入上位5銘柄の紹介

(2016年11月30日現在)

| 銘柄名 | | 概要 |
|--------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 業種 | 組入比率 | |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | | 国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する価値観は「信頼・信用」、「プロフェッショナリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」。 |
| 銀行業 | 7.1% | |
| 三井住友フィナンシャルグループ | | 3メガバンクの一角で、銀行業務を中心に、クレジットカード業務、リース業務、情報サービス業務、証券業務などのさまざまな金融サービスにかかる事業を展開。経営方針は、最高の信頼を得られ世界に通じる金融グループを目指す。 |
| 銀行業 | 5.7% | |
| CYBERDYNE(サイバーダイン) | | ロボットスーツHAL(身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボット)を医療・介護・福祉分野、労働・重作業分野など人間生活に役立つ領域で展開することを目的として、筑波大学大学院教授が起業した、大学発ベンチャー企業。 |
| 精密機器 | 5.4% | |
| 日立製作所 | | 2008年度の巨額赤字後、マネジメントの強力なリーダーシップで進められた構造改革で強靭な組織になり、収益体质も強化。「インフラとITをつないで、世の中を便利にする」をモットーに、グローバルでの展開を加速。重視する「ダイバーシティ」が、成長の大きな武器になる。 |
| 電気機器 | 3.7% | |
| 三菱重工業 | | 世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。 |
| 機械 | 3.7% | |

●組入上位5銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。 ●業種については東証33分類に基づいて記載しております。

●比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

今回は、「ザ・2020ビジョン」における向こう1年の着眼点についてお話しします。

2017年の着眼点は、アベノミクス第2ステージ(安倍政権が重視する成長戦略)における『日本再興戦略2016』と『ニッポン一億総活躍プラン』、及び『海外の政治経済動向』です。

『日本再興戦略2016』とは、主に戦後最大の名目GDP600兆円(GDP100兆円増加)を目指す官民政策プロジェクトで、「第4次産業革命(IoT・ビッグデータ・AI)、「世界最先端の健康立国」、「サービス産業の生産性向上」などで構成されています。そして、これを供給面から後押しするのが『ニッポン一億総活躍プラン』であり、具体的には規制改革を通じた新規需要を賄うための「労働力確保・生産性向上」、「働き方改革」や賃上げによる「適切な分配」があります。日本が将来にわたり持続的成長を実現するには、直面する少子高齢化問題に真っ向から立ち向かい、同様の課題を抱える他の先進国に先駆けて成長と分配の好循環を達成する日本型モデルの構築に取り組む必要があり、2017年は大事な一年になると考えています。

日本の株式市場が外部要因に影響を受ける構図に変化はなく、海外のニュースフローや為替動向などによって日本株が短期的に大きく振れることも予想されます。米トランプ次期大統領の政策の行方に目が離せないのは言うまでもありませんが、欧州や中国などの『海外の政治経済動向』にも注意が必要です。2017年5月にはフランス大統領選挙(決選投票)、6月にはフランス国民議会選挙、8月～10月にはドイツ連邦議会選挙が実施されるなど、欧州主要国では重要選挙が目白押しです。世界的にポピュリズムの流れが広まるなか、欧州で反EUの動きが強まれば、既に国民投票で決着がついたブレグジット(Brexit)と相俟って、世界的なリスクオフ・イベントとなる事態も否定できません。

これらの着眼点から、"変化をはじめた企業"、"変化にチャレンジする企業"を中心に中長期視点で"厳選"し、"ダイナミック"な運用を行ってまいります。

今後とも、「ザ・2020ビジョン」をよろしくお願ひいたします。

チーフポートフォリオマネージャー 糸島 孝俊

POINT(ザ・2020ビジョンの寄付のしくみ)

コモンズ投信では、「ザ・2020ビジョン」を通じて、パラリンピック関連(障がい者スポーツ)のチャレンジャーを応援しています。

(<http://www.common30.jp/fund2020/point.php>)

第1回応援先として(特)日本視覚障害者柔道連盟(<http://judob.or.jp/>)を選ばせていただき、こちらの月次レポートでは毎月、同連盟と連携して視覚障害者柔道のご紹介をさせていただいている。

◎コモンズくつろぎBARクリスマススペシャル企画!～リオ・パラリンピックのメダリストがやってくる!～

12月21日(水)、日本財団(東京・港区)にてスペシャルゲストに視覚障害者柔道の廣瀬誠選手と初瀬勇輔選手をお迎えして開催しました。旧知の仲のお二人は楽しいトークを展開しながら、視覚障害者柔道のルールから、おふたりがどうやってこの世界に出会ったのか、そして2020年に向けて、またそれ以降の日本社会に期待することを語ってくださいました。POINTの応援先選定からご協力くださっている日本財団パラサポセンターの金子知史氏や視覚障害者柔道連盟の事務局の方々もご参加ください、POINTに関わってのご感想についてもお聞きすることができました。

他にも、オペラあり、ザ・2020ビジョンの3周年のお祝いあり、クイズあり、2016年の最後のくつろぎBAR、大変盛り上がりました。

FBにアルバムも作成しました。ぜひご覧ください。

https://www.facebook.com/pg/common30/photos/?tab=album&album_id=1286033578085312

次回のレターでは、次年度の応援先となる団体を発表いたします!

POINT担当 馬越 裕子



お知らせ

◎Pick up!セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧下さい。<http://www.common30.jp/seminar/>

| セミナー名 | | 日付 | 時間 | 場所 |
|--------------------------------------|--------------|----------|-------------|-------------------|
| 【名古屋】ザ・2020ビジョン3周年記念 ファンド説明&運用報告会 | | 1月14日(土) | 14:00~16:00 | 愛知県名古屋市(名証ホール) |
| 【大阪】ザ・2020ビジョン 3周年記念 | ファンド説明会(入門編) | 1月15日(日) | 10:00~11:30 | 大阪府大阪市(AP大阪梅田茶屋町) |
| | 運用報告会 | | 13:00~14:30 | |
| 【福岡】ザ・2020ビジョン 3周年記念 | ファンド説明会(入門編) | 1月21日(土) | 13:30~15:00 | 福岡県福岡市(アクロス福岡) |
| | 運用報告会 | | 16:00~17:30 | |
| 【東京】ザ・2020ビジョン 3周年記念 | ファンド説明会(入門編) | 1月20日(金) | 19:00~20:30 | 東京都中央区(FinGate) |
| | 運用報告会 | 1月22日(日) | 13:30~15:00 | |

◎糸島孝俊メディア出演情報

| 日付 | 時間 | メディア | 備考 |
|----------|-------------|------------------|-------------------------|
| 1月17日(火) | 5:45~6:40 | TV東京「モーニングサテライト」 | 6:30頃「今日の株式見通し」に電話出演 |
| 1月26日(木) | 22:00~23:00 | BSジャパン「日経プラス10」 | 22:50頃インザマーケットのコーナーに生出演 |

販売会社一覧

| 販売会社名称 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 日本商品先物取引協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
|------------------------|---------------------|---------|-----------------|-----------------|------------|--------------------|
| 楽天証券(株) 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (株)SBI証券 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第44号 | ○ | ○ | | ○ | |
| マネックス証券(株) 金融商品取引業者 | 関東財務局長 (金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | | |
| (株)静岡銀行 登録金融機関 | 東海財務局長 (登金)第5号 | ○ | ○ | | | |
| エース証券(株) 金融商品取引業者 | 近畿財務局長 (金商)第6号 | ○ | | | | |

II ザ・2020ビジョンの費用について

| | |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料 | (コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 運用管理費 (信託報酬) | ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| その他の費用 手数料 | 当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。 |

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

II ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

II お申込みメモ

| | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 信託設定日 | 2013年12月27日 |
| 信託期間 | 無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることができます。) |
| 決算日 | 原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。) |
| 分配方針等 | 毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 |
| 購入単位 | (コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入価格 | 購入申込受付日の基準価額 |
| 換金単位 | (コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の基準価額とします。 |
| 換金代金の支払い開始日 | 換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。 |

| | | |
|---------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| お問い合わせ先 | ■コールセンター (受付時間／平日 午前9時～午後5時) 03-3221-8730 | ■ウェブサイト http://www.common30.jp/ |
|---------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さんに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘的目的で作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階